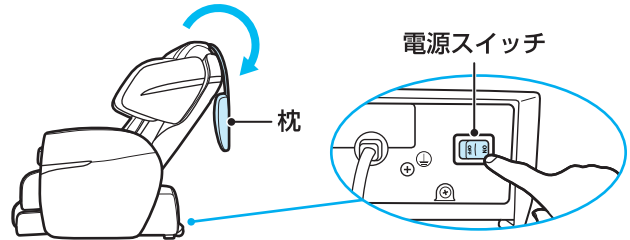


# JT-FJ130 カンタン操作ガイド

1 主電源ランプが点灯していることを確認する。  
点灯していない場合は、本体後側の下部にある電源スイッチを「ON」にする。

2 枕を後に回して、座る。



3 背部と脚部をお好みの位置に合わせる。

- 背部：
- 背もたれ部が起き上がる。
  - 背もたれ部が倒れ、脚部が上がる。
- 脚部：
- 脚部が上がる。
  - 脚部が下がる。

4 自動 を押し、お好みのコースを選択する。

※選択した自動コースのランプが点灯します。

## 自動コースの種類

- 全身** 全身のコリや疲れをやわらげるコース
- 肩** 肩・背部のコリや疲れをやわらげるコース
- 腰** 腰のコリや疲れをやわらげるコース
- ストレッチ** ストレッチ動作を中心としたマッサージコース

5 自動コースを選択すると脚部が上がり、もみ玉が肩位置を自動的に検知する。

検知した肩位置は、調節 を押して変更できる。



# 自動コース動作中の調節

## 肩位置を調節したいとき

**調節** で肩位置の高さを 7 段階から選択。

## 肩の強さを調節したいとき

**肩** で肩強さを 5 段階から選択。

## 背の強さを調節したいとき

**背** で背強さを 2 段階から選択。

## 腰の強さを調節したいとき

**腰** で腰強さを 5 段階から選択。

強さのランプ		
強さ	ランプの点灯	
	5 段階 (肩・腰)	2 段階 (背・エア)
弱 1	○ ● ● ●	○ ●
2	○ ○ ● ●	● ○
3	● ○ ● ●	
4	● ○ ○ ○	○ ● 点灯
強 5	● ● ● ○	● ● 消灯



## エア強さを調節したいとき

**エア** エア強さを 2 段階で調節。  
● エア強さは部位ごとに調節できません。

## 肩・腕・座・脚エアーを「入・切」したいとき

**肩 腕 座 脚** で動作を選択。  
● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

## 脚ストレッチをしたいとき

**脚ストレッチ** で動作を選択。  
● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。  
● フットレストの状態でも脚ストレッチは動作します。

## ヒーターを「入/切」したいとき

**背ヒーター** で動作を選択。  
● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。  
● 背もたれ部マッサージと同時に使用しない場合、90 秒間のみ動作します。

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全上のご注意

### 警告

- 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。  
破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・プレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- 次の人は使用しない。  
医師からマッサージを禁じられている人  
(例：血栓 [そく (塞) 栓] 症、重度の動脈りゅう (瘤)、急性静脈りゅう (瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症 (皮下組織の炎症を含む) など)
- 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師と相談のうえ、使用する。(詳しくは取扱説明書を参照)
- お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- リクライニングするときは、必ず周囲 (本体の後部、前部、側部、下部など) に人やペット、物がいないことを確認する。
- ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間触れるような使い方をしない。
- 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。